

Tuning edge

スポーツモデルにふさわしい「軽さ」を
無駄を削ぎ落とした
デザインで手に入れる

車検時に消耗品を新品に交換したり、そのタイミングで「せっかくだから」とアフターパーツに交換をする人は多いが、交換して見た目や性能で最も効果を感じられる部分はどこか。意見は様々だが「見た目」「パフォーマンス」の両面からタイヤ&ホイールを挙げる人は多い。クルマが唯一地面と接する部分であるタイヤ、乗り心地や操作性に影響し、見た目の印象も変えるホイールはまさにカスタマイズの王道である。

輸入車を選ぶ人は品質やブランド力だけでなく、その「走り」の素晴らしさを求める人も多い。特にその分野で高い評価を得る、ポルシェやBMWといったブランドを選ぶ人はその傾向が強いはずだ。

現在、タイヤ&ホイールは交換の需要が高だけに選択肢は非常に多い。リーズナブルでコストパフォーマンスの高いものもあれば、性能を重視した贅沢品まで揃っている。消耗度が多少高いものの高性能なタイヤを選ぶと

Drive. MOTORSPORT

次々に発表されていく最新モデルのデモカーたち

2016年にデビューしたばかりのBMW M2も、チューニング&ドレスアップの最先端をいくプロショップですすでにデモカーとして活躍している。今回は愛媛県松山市にて、欧州車をメインに車両の販売やカスタムを行う「drive」のデモカーを撮影。足下を飾るのは見事にセッティングされたT66-GT。

©drive tel. 089-997-8870 <http://www.drive06.com/>

TWS Motorsport T66-GT

新素材を使い、軽さと強度、剛性をもたせることに成功したT66-GT。同社がモータースポーツで培ってきた技術を注ぎ込み、究極のコンペティションホイールとして開発されている

価格：9万6120円～11万4480円
カラー：フラットゴールド、グロスシルバー、グロスガンメタ
サイズ：18×8.0J～10.0J、19×8.5J～11.0J



乗り味は大きく変わる。このことを知ってる人は多いが、一方で軽く見られがちなのがホイールである。1本数kgの物質が車速100km/h時にどれだけ高回転で回るとかを考えれば、ホイールのスペックがいかに重要なかが理解できるだろう。ホイールにとって走りに影響する「軽さ」、そして酷使する部分だけに「耐久性」「安全性」が不可欠になる。巨大なプレス機でアルミ素材一本一本を丹念に鍛えて作る鍛造ホイールが高価になるのは、そういった

ことを重視するユーザーの要望に応えられるだけの性能が与えられているからなのである。もちろんただ「鍛造品」を選べばいいわけではない。できればここで紹介している日本の鍛造ブランド「TWS」のような「made in Japan」の圧倒的な品質のものを選んでおきたい。

安い買い物ではない。しかし、輸入車、特にBMWやMやポルシェのように、走りにこだわる人にとっては…検討する価値は間違いなくあると断言したい。👉